



A.Takeda

THE FAIRY STAKES

第41回 フェアリーステークス (GIII)

1着	2着	3着	4着	5着
本賞 38,000,000円	15,000,000円	9,500,000円	5,700,000円	3,800,000円
付加賞 567,000円	162,000円	81,000円		



レース映像は
コチラでご覧
いただけます。

牝、3歳、除未出走馬および未勝利馬
負担重量 馬齢重量

2025.1.12 中山 墓・良 芝1600m (国際) 特指

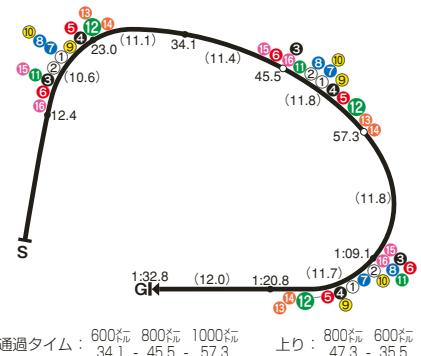
順位	馬番	馬名	性齢	斤量	騎手	タイム	コーナー	上り	馬体重	単勝	調教師	レーティング
						(着差)	通過順位	(600m)	(増減)	オッズ		
1	⑫	エリカエクスプレス	牝3	55	戸崎圭太	1:32.8	2-3-3	35.1	456(±0)	5.9(2)	杉山晴紀(栗東)	107
2	⑯	ティラトーレ	牝3	55	木幡巧也	3	2-2-1	35.9	488(+2)	6.4(4)	牧 光二(美浦)	101
3	⑪	エストゥベンダ	牝3	55	三浦皇成	クビ	12-12-11	34.6	442(+4)	27.8(9)	高柳瑞樹(美浦)	100
4	①	マイスター・ウェルク	牝3	55	T.マーカド	ハナ	7-7-7	35.0	498(+8)	6.6(5)	勢司和浩(美浦)	100
5	②	キタノクニカラ	牝3	55	丸田恭介	3	11-10-9	35.3	388(±0)	72.8(3)	小島茂之(美浦)	
6	⑯	レモンバーム	牝3	55	園野大成	ハナ	16-13-11	35.0	448(-4)	94.7(9)	嘉藤貴行(美浦)	
7	⑤	ハードワーカー	牝3	55	佐々木大輔	2	4-4-4	36.3	484(+8)	99.0(9)	竹内正洋(美浦)	
8	⑯	ミラーダカリエンヌ	牝3	55	石川裕紀人	%	12-16-14	35.1	472(-2)	107.4(6)	相沢 郁(美浦)	
9	⑧	レイユール	牝3	55	鷲田純次	%	7-10-11	35.9	416(±0)	4.7(1)	手塚貴久(美浦)	
10	⑦	ホウオウガイア	牝3	55	田辺裕信	クビ	7-7-8	36.3	436(+12)	6.1(3)	大竹正博(美浦)	
11	③	ジャルディニエ	牝3	55	斎藤 新	%	12-13-14	35.7	438(-12)	14.0(7)	奥村 豊(栗東)	
12	⑨	モルティフレーバー	牝3	55	北村宏司	3	6-5-5	37.1	454(+12)	14.8(8)	清水久詞(栗東)	
13	④	ネーブルオレンジ	牝3	55	丹内祐次	%	4-5-5	37.2	466(+2)	62.8(2)	杉山佳明(栗東)	
14	⑥	ミーンツゥビー	牝3	55	松岡正海	クビ	15-15-14	36.3	444(+2)	8.4(6)	堀内岳志(美浦)	
15	⑩	ルージュミネール	牝3	55	横山和生	7	7-7-9	38.2	442(-2)	30.8(9)	斎藤 誠(美浦)	
16	⑭	ニシノラヴァンダ	牝3	55	菅原明良	1	1-1-2	39.4	432(+12)	45.0(1)	奥平雅士(美浦)	

単勝⑩90円(2%) 複勝⑫260円(4%) ⑬240円(3%) ⑯620円(10%) 枠連⑥-⑦2,040円(10%)

馬連⑩-⑬2,700円(13%) ワイド⑫-⑬1,080円(13%) ⑪-⑯3,400円(39%) ⑯-⑬2,880円(37%)

馬單⑬-⑯5,470円(27%) 3連複⑪-⑯-⑬24,750円(86%) 3連単⑫-⑬-⑯105,960円(355%)

5重勝⑩⑥⑬⑫⑯7,670,090円(55票) 対象競走：中山9R／中京10R／中山10R／中京11R／中山11R



通過タイム : 600m 800m 1000m 上り : 800m 600m
34.1 - 45.5 - 57.3 47.3 - 35.5

アラカルト

- 戸崎圭太騎手はブリモシーンで制した18年に続くフェアリース3勝目。JRA重賞は通算78勝目
- 杉山晴紀調教師はフェアリーS初勝利。JRA重賞は通算22勝目
- エビファネイア産駒はJRA重賞通算24勝目
- 勝ちタイム1:32.8は11年にダンスファンタジアが記録した1:33.7を0秒9更新するレースレコード
- 非当選馬 9頭(アイサンサン、カリーン、キスアンドクライ、キョウエイボニータ、シホリーン、ジョリーレース、パーリースター、プリンセッサ、ホリーアン)

エリカエクスプレス Erika Express

牝 黒鹿毛 2022.3.8生
北海道浦河町 三嶋牧場生産
馬主・三木正浩氏 栗東・杉山晴紀厩舎
馬名意味・冠名+快速

エンタインストIRE系 F8-d		
エピファネイア 鹿毛 2010	シンボリクリスエスUSA 黒鹿毛 1999	Kris S. Tee Kay
	シーザリオ 青毛 2002	スペシャルウィーク キロフリミエールGB
エンタインストIRE Enticed 鹿毛 2016	Galileo 鹿毛 1998	Sadler's Wells Urban Sea
	Dialafara 芦毛 2007	Anabaa Diamilina

5代までのインブリード: Sadler's Wells M3×S4 Northern Dancer M4×S5×M5

INTERVIEW

三嶋健一郎専務(三嶋牧場)

強くて鮮やかな勝ち方に驚きました

まだ1勝馬ですし、どんな競馬をしてくれるのかと思っていたが、とても強くて鮮やかな勝ち方だったので驚きました。牧場に導入したばかりの母馬にエピファネイアを付けたのは、体形的に合うのではないかと思ったからです。生まれた時のエリカエクスプレスは線のきれいな馬でした。桜花賞へは直行するようですが、無事に本番を迎えてくれることを願っています。



Photostud

フルゲートを埋めた16頭のうち、2勝馬は2頭のみ。例年同様、収得賞金400万円の1勝馬が主力を占めるメンバー構成によって争われたフェアリース但在、勝ち馬が演じたパフォーマンスは例年なく「圧巻」といえるものだった。新馬戦を勝ち上がりながら、2番人気に支拂されたエリカエクスプレスが、傑出した速さと強さを見せ付け完勝。デビューランで重賞初制覇を果たし、桜花賞の有力候補に浮上した。

函館2歳Sの2着馬ニシノラヴァンダが先導役を務めたレースは、前半800mの通過が45秒5というハイペースで進行。それでも前進気勢を露わに

月、京都・芝1600mの新馬戦でデビューし、逃げ切り勝ち。約3ヶ月の休養を挟んで臨んだこの日は好位に控える形となり、中盤までは折り合いに苦労する場面も見受けられたものの、決して“ズムーズ”とはいえない走り0秒9も塗り替えたのだから驚く。ガリレオ産駒の母エンタインストは愛タービー馬力アリの全妹。血統的背景もしっかりしている快足牝馬の今後が本当に楽しみだ。

父エピファネイア

北海道安平町 ノーザンファーム生産 中央、香、首14戦6勝(ジャパンC G1、菊花賞G1、神戸新聞杯GII、ラジオNIKKEI杯2歳S GIII、日本ダービーG1 2着、皐月賞G1 2着)、15年から供用、21~24年日本2歳リーディングサイヤー2位〔代表産駒〕ダノンデサイル(日本ダービーG1、京成杯GIII、有馬記念G1 3着)、デアリングタクト(桜花賞G1、オーケスG1、秋華賞G1、ジャパンC G1 3着)、エフフォーリア(皐月賞G1、天皇賞(秋)G1、有馬記念G1、日本ダービーG1 2着)、ステレンボッシュ(桜花賞G1、オーケスG1 2着)、阪神ジュベナイルフィリーズG1 2着)、プロザホーン(宝塚記念G1、日経新春杯GII、天皇賞(春)G1 2着)、テンハッピーローズ(ヴィクトリアマイルG1)、サークルオブライフ(阪神ジュベナイルフィリーズG1)、アリストテレス(アメリカJCC GII、菊花賞G1 2着)、イズジョーノキセキ(アイルランドトロフィー府中牝馬S GII)、モリアーナ(紫苑S GII)、ジャステインカフェ(エプソムC GIII)、セルバーグ(中京記念GIII)、ビザンチンドリーム(きさらぎ賞GIII)、イフェイオン(フェアリーS GIII)、他に活躍馬多数

母エンタインストIRE

愛2戦0勝。20年輸入

ダノンケイツ(21 牝父Justify)持込 中央3戦1勝

エリカエクスプレス 本馬(22 牝父エピファネイア)中央2戦2勝(フェアリ

ーS GIII) 獲得総賞金45,767,000円

(23 牝父エピファネイア)

(24 牝父コントレイル)

祖母ディアラファラ Dialafara

フランス産 仏1勝

ソヴリンパレード Sovereign Parade(13 牝父Galileo)英1勝、コミッシ

ヨニングGB(フィリーズマイル・英G1、ロックフェルS・英G2)の母

カプリ Capri(14 牝父Galileo)中央0勝、愛、英、仏6勝(愛ダービーG1、英セントレジャーG1、ベレスフォードS・愛G2、アレッジドS・愛G3)

サイプレスクリーク Cypress Creek(15 牝父Galileo)愛、英、独2勝(ラブラウンS・愛G3、ラフラウンS・愛G3 2着)

エンタインストIRE(16 前出)

パッションIIIRE(17 牝父Galileo)愛、英、仏2勝(スターネーラS・愛G3、愛オーケスG1 3着)、英チャンピオンズフィリーズ&メアズS G1 3着)

タワー・オブ・ロンドン Tower of London(20 牝父Galileo)首、愛、沙、英6勝(カラC・愛G2、ドバイゴールドC・首G2、レッドシーターフH・沙G3、ニジンスキS・愛L)

傑出した速さでレースコード勝ち

フルゲートを埋めた16頭のうち、2勝馬は2頭のみ。例年同様、収得賞金400万円の1勝馬が主力を占めるメンバー構成によって争われたフェアリース但在、勝ち馬が演じたパフォーマンスは例年なく「圧巻」といえるものだった。新馬戦を勝ち上がりながら、2番人気に支拂されたエリカエクスプレスが、傑出した速さと強さを見せ付け完勝。デビューランで重賞初制覇を果たし、桜花賞の有力候補に浮上した。

函館2歳Sの2着馬ニシノラヴァンダが先導役を務めたレースは、前半800mの通過が45秒5というハイペースで進行。それでも前進気勢を露わに

したエリカエクスプレスを懸命に骖めつつ、戸崎圭太騎手は離れた3番手に腰を落ちさせる。3番人気の支持を集めた百日草特別の2着馬ホウオウガニアは中国を追走。完勝した同舞台の新馬戦、小差の2着に食い下がつた赤松賞と、2戦連続で出走馬中最速の上りの1戦1勝馬ながら、2番人気に支拂されたエリカエクスプレスが、傑出した速さと強さを見せ付け完勝。デビューランで飛ばしたニシノラヴァンダの逃げ脚は4コーナーで鈍り、2番手のティラトーレがかわって先頭へ。しかし直線の坂下、エリカエクスプレスは“持ったまま”的手応えでこれに並びかけ、楽々と突き放す。先頭へ抜け出してからもその脚勢は陰らず、3頭横一線の2着争いを尻目に危なげないフィニッシュを決めた。

エピファネイア産駒の本馬は昨年10月、京都・芝1600mの新馬戦でデビューし、逃げ切り勝ち。約3ヶ月の休養を挟んで臨んだこの日は好位に控える形となり、中盤までは折り合いに苦労する場面も見受けられたものの、決して“ズムーズ”とはいえない走り0秒9も塗り替えたのだから驚く。ガリレオ産駒の母エンタインストは愛タービー馬力アリの全妹。血統的背景もし